



ほっかい

水とふれあい通信

◇発行者／岩見沢市6条西7丁目 北海土地改良区

TEL (0126) 22-2400 FAX (0126) 22-8012

URLアドレス <http://www2.midorinet-hokkai.jp>

◇印刷／弘文社印刷株式会社 岩見沢市5条東11丁目



『地域用水機能増進事業の支援活動 岩見沢市立北村小学校 脱穀集会』

主な内容

『平成 20 年を迎えて』ご挨拶	2
平成 19 年度第 2 回臨時総代会開催	3
平成 20 年度農業農村整備事業予算	4
永年表彰・おくやみ	5
空知中央地区地域用水機能増進事業活動	6 ~ 7
お知らせ（疏水サミット in 2008 外）	8

改良区の現況

地区面積

33,492ha

組合員数

2,884人

平成19年10月 対比 △9人

平成 20 年 1 月 1 日現在

第 76 号

平成二十年を迎えて



北海土地改良区
理事長

眞野 弘

年があらたまつて早くも1ヶ月であります。組合員の皆様にはご家族共々ご健在でお過しのこと、お喜びを申上げます。

水土里ネットほっかいは、平成十五年大きく合併をして農業用水供給量10億トン、日本最大の33000haの土地改良区としてその規模を誇つておりますが今組合員の為に何が必要か、何が出来るか、地域社会にどのような貢献が出来るか、又100年の歴史を刻んでいる現在の姿を創立に至る先人、先達の思いにしつかり答えているだろうか。

日々そんな思いで役職員一体で運営努力をさせて頂いておりますが、満点評価に至らないまでも順調にその役割を果させて頂いていること、誠にありがたく考えております。これは申し上げるまでもなく農林水産省を始め北海道開発局、北海道庁など関係行政、団体のご指導と格別の応援によるものであります。もちろん組合員の

ご協力、心からの敬意と感謝を申し上げたい強い心境であります。

さて、一年を振り返っての印象は、年末に発表された世相を反映する一字句漢字が清水寺の舞台で大きく『偽』いつわりと揮毫された様に『美しい国』を標榜する国としては一寸気がとがめる思いであります。地域農業を見ても肝心の水稻の作況が南空知の94、渡島・檜山に至つては60台と以外にも不穏障害の発生があつたことを始め、農作物の価格低迷、ガソリン等エネルギー関係の高騰など景気のマイナス要因が多いためかこの年末年始のよろこびと明るさにも一寸輝きを失つてゐる感じであります。

然し少し視点を変えると、自然界の総てが陰と陽、満天と朽ちる月の繰り返しである様に歴史的経過や世界的経済社会を見てもその頻度の差はあるにしてもその総てがその繰り返しで動いている法則世界だと確信すれば失望するには当たらんではないか、先に希望も志しも期待も大きく持てるんではないか、無理を承知でもプラス思考で望みたいと思う処であります。

国の政治の方、新テロ対策特別措置法のからみで再延長国会という異状な状況での年越しでありましたが、国家予算の方は例年通り財務省原案に統じて十二月二十四日政府原案発表になつた処であります。もちろん続く一月十八日からの通常国会での審議がありますが、北海道開発予算全体としても又農業農村整備関係にしても前年対比99%と先づ々の数字と認識している次第であります。

当区関係では国営事業の空知中央土地改良事業に続く次期事業の北海地区の新規地区調査、美唄農地再編も同じ地区調査について、いずれも採択決定致しました。また本年の新しい制度要請で補助事業の経営体育成基盤整備に続く農地集積加速化等基盤整備事業国庫補助率50から55%への要請も確定し、5%の負担軽減となるもので高く評価できるものであります。

さて、今年は北海道にとっては最大の国際イベント温暖化問題等環境を主たるテーマとする洞爺湖サミットが7月に開催されます。土地改良団体としても当サミット道民会議に参画すると同時により高度な議論の場に水資源を中心とする関連事業として、少しでもその情報発信が出来ることもあつて6月初旬4日～5日には全国疏水サミットを準備してある処であります。全国疏水百選にちなんだこのサミット、第3回となりますが北海道開発局、北海道庁、土地連そして北海幹線管理の北海土地改良区外道内選定の関係土地改良区一体で企画しているものであります。

この事は農業用水の持つ様々な役割を再認識すると同時にその価値とその保全の重要性について次世代へ継承していく為に全国ネットでの理解を内外に深めて行こうとするものであります。是非成功させたいと考えておりますので関係者のご協力を願い申し上げます。

今年も課題の多い一年となります。役職員はもとより組合員皆様のご指導とご協力を願い申上げ、皆様の御健在とご活躍をご祈念申上げ挨拶と致します。

平成19年度 第2回 臨時総代会開催

平成19年度第2回臨時総代会を11月14日、岩見沢平安閣において総代98名の出席を得て開催し、議長に竹内一令氏（南幌町・第12区）、議事録記名人に垣野芳博氏（砂川市・第1区）、鎌田義彰氏（岩見沢市・第16区）を各々選出し、報告1件、議案6件について慎重審議の結果いずれも原案通り承認されました。

平成19年度 第2回 補正予算の概要

一般会計 11,000千円 増額

第2回補正予算は、揚水機電気料に伴う維持管理費増及び償還金の変更を主たる要因として、トータル11,000千円増額し総額4,839,000千円とするものであります。

平成19年度 一般会計第2回 補正予算表

(単位：千円)

収 入

科目	補正前の額	補正額	計	説明
賦課金	2,547,967	-7,996	2,539,971	特別賦課金 -9,101 事業賦課金 1,105
使用料	15,989	0	15,989	
補助金及び助成金	550,716	-464	550,252	市町村等助成金 -4 交付金 -460
財産収入	20,685	0	20,685	
受託及び 補償金	71,001	0	71,001	
繰入金	293,008	18,884	311,892	積立金繰入 18,884
借入金	860,585	-430	860,155	長期借入金 -430
諸収入	294,198	1,006	295,204	諸収入 683 決済金 323
換地費	2	0	2	
繰越金	173,849	0	173,849	
収入合計	4,828,000	11,000	4,839,000	

支 出

科目	補正前の額	補正額	計	説明
一般管理費	919,609	221	919,830	營繕費 221
當造物管理費	854,080	18,975	873,055	揚水機維持 18,855 助成金 120
土地改良事業費	180,154	0	180,154	
諸税及び負担金	441,360	0	441,360	
繰出金	439,745	6,278	446,023	積立金繰出金 100 特定積立繰出金 6,178
償還金	1,933,557	-14,368	1,919,189	農林漁業資金償還金 -10,731 長期借入金償還金 -2,910 繰上償還金 -727
諸支出金	51,493	49	51,542	返還金 49
換地費	2	0	2	
予備費	8,000	-155	7,845	予備費 -155
支出合計	4,828,000	11,000	4,839,000	

～平成 20 年度 農業農村整備事業 予算の概要～

平成 20 年度 当区関係の農業農村整備事業予算として、昨年 12 月に財務省内示で国営かんがい排水事業新規調査～北海地区、国営農地再編整備事業新規調査～美唄地区の 2 地区が採択されました。

今後、維持管理の軽減、水利システム機能の向上、地域農業の振興、農業経営の安定等の為、早期着工を要請してまいります。

● 地区概要

事業名	地区名	調査期間	関係市町村	受益面積(ha)	事業目的	主要工事
国営かんがい 排水事業	北海	H20 ～ H21	岩見沢市・美唄市・赤平市・三笠市・砂川市・南幌町・奈井江町・新篠津村	27,002	用水改良	頭首工 1 カ所 (改修) 用水路 2 条 L =37.3km
国営農地再編 整備事業	美唄	H20 ～ H22	美唄市	2,700	区画整理 農地造成	区画整理 A=2,695 ha 農地造成 A =5 ha

《農地・水・環境保全向上対策》

申請・報告手続きと確認事務の簡素化が決定！

平成 19 年度(報告)から手続きを半減

平成 19 年 12 月、国の農政改革緊急検討本部において、農地・水・環境保全向上対策について、実態に即した必要な改善等を行いつつその着実な推進を図る為、「農地・水・環境保全対策 申請・報告手続きと確認事務の簡素化」が決定されました。その概要は、下記の通りです。

- 手続きの大幅簡素化をはかり、申請書類については、14 項目から 7 項目に半減。
報告書類については、5 項目から 3 項目に削減。又、文章による記述を不要とし、チェック方式に変更。
- 実務確認に必要な作業日報や写真資料についても、様式を見直し事務量を半分以下にする。
- 資料作成等の手続きマニュアルについて、薄くてわかりやすい簡易版を作成。
- 地域協議会等に手続き相談窓口を設置。

(農林水産省ホームページより抜粋)

総代

本年10月10日の任期満了に伴う総代改選により、永年歴任いただき退任された各位に、その功績に対し顕彰規程により感謝状を贈呈しました。在任中、当区業務運営に多大なるご尽力を賜り深く感謝申し上げますと共に、今後益々のご健勝をお祈り申し上げます。

～永い間ご苦労様でした～

5期	第9選挙区（岩見沢市） 段坂清司 (昭和六十二年十月～平成十九年十月)
4期	第4選挙区（美唄市） 林秀雄 (昭和六十二年十月～平成七年十月)
3期	（平成十一年年十月～平成十九年十月）
第9選挙区（岩見沢市） 西屋勝 (平成七年十月～平成十九年十月)	
第9選挙区（岩見沢市） 森義弘 (平成七年十月～平成十九年十月)	
第14選挙区（岩見沢市） 村形利光 (平成七年十月～平成十九年十月)	



◎組合員

鈴木福次郎氏（三笠市）

三笠・東区支線組合
平成十九年十月二十五日逝去

・退職（十一月二十一日付）

故阿部紹一

平成十五年四月、改良区合併により栗沢事業所副長、平成十七年からは、水土里ネット推進室主幹として活躍されておりましたが、平成十九年十一月二十二日逝去了ました。（行年五十六才）

おぐやみ

当区関係者において、左記の方々が
ご逝去されました。

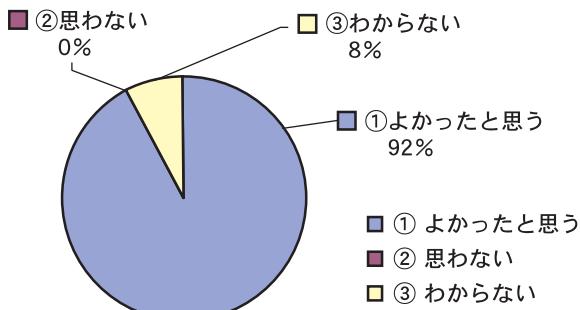
ここに、生前中当区業務運営にご尽
力賜りました事に深く感謝を申し上げ
謹んでご冥福をお祈り致します。

空知中央地区 地域用水機能増進事業

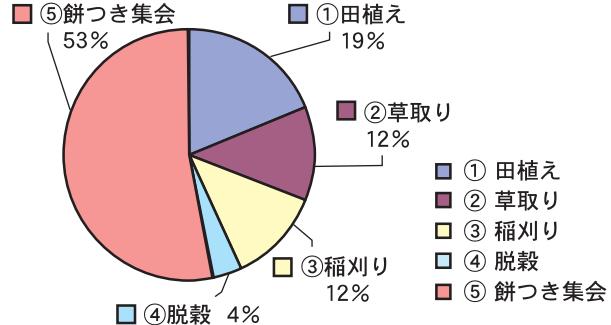
岩見沢市北村小学校 6 年生に「稻作体験学習」アンケート調査（平成 19 年に実施）

当地区では平成 14 年度より北村小学校と連携して、総合学習授業で子どもたちに農業農村の持つ自然環境や様々な機能に触れてもらい、豊な感性や見識、郷土を愛する心を育て上げることを目的に稻作体験学習「田んぼの学校」を設立し、活動に支援協力しております。平成 15 年度から 4 年間体験していくたいた 6 年生 26 名に感想を聞きましたので掲載します。

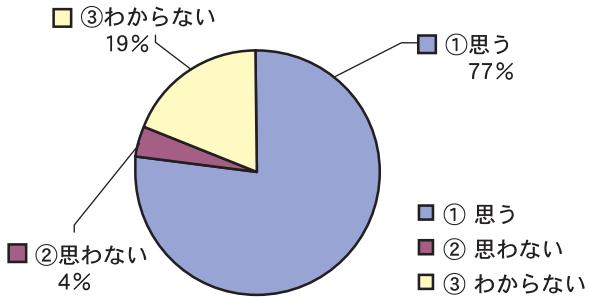
田んぼの授業を 4 年間体験できてよかったですか？



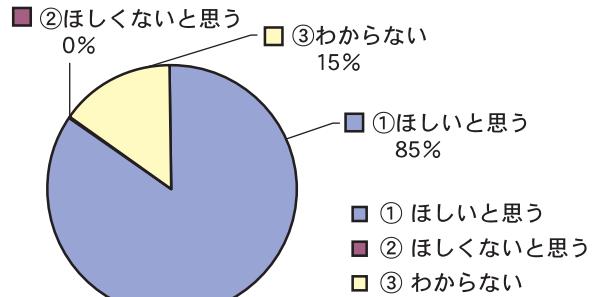
田んぼの授業で一番楽しかったことは何ですか？



田んぼの授業はこれから的生活に役に立つと思いますか？



田んぼの授業はこれからも続けてほしいと思いますか？



※ 子どもたちの感想や意見を紹介します。

- ◆ 田んぼの作業は大変なのに、農家の人は私たちが生きていくためにお米を作ってくれてありがとうございました。これからはご飯を食べるときは感謝の気持ちをこめてご飯を食べます。
- ◆ 普段はあまりできない体験で田植え、稻刈り、脱穀など大変な作業だったけど、とてもよい経験でした。他の学校でやっているかどうかわからないけど、面白かったのでこれからも続けてほしいと思います。
- ◆ 自分の家ではお米を作っていないので、お米のことがいろいろ分かって勉強になった。自分たちが作ったお米で作った餅はすごく美味しかった。今度はまだやったことのない農業体験をしてみたい。
- ◆ 稲を育てるのは簡単そうに思えたけど、実際やってみると腰が痛かったり、腕が痛くなったりとても大変な仕事で体験以外にもいろんな仕事があり、農家の人は一生懸命仕事をしてすごく強くて立派だと思いました。米だけではなく野菜に水をやったり草をとったりと、とても大変な仕事がたくさんあるので食べものに感謝して食べようと思えてきました。大変だけどとてもやりがいのある仕事だと思いました。
- ◆ 他の学校ではあまりやっていない田んぼの授業稻作体験ができてよかったです。3年生のときは田んぼの中に入るのが初めてでちょっと怖かったけど、6年生になったら田んぼに入るのが楽しみになりました。
- ◆ 3年生からの田んぼの授業を通して自分で考えてすることができて、教室で勉強しているときと違ってみんなと学習できてよかったです。
- ◆ 田植えや稻刈りは毎年楽しみにしています。お雑煮やきな粉餅や醤油餅も好きです。田んぼの授業はどうしてお米ができるのかがわかって、とても勉強になります。

空知中央地区 地域用水機能増進事業

～補完ハード工事で整備～

美唄市 平成 19 年度実施

- 公園整備（美唄市峰延町 JR 駅前）
《北海幹線用水路上部を利用》



岩見沢市 平成 18 年度実施

- 遊歩道の設置（岩見沢市北区）
《岩見沢幹線用水路敷地桜並木横》



**平成 19 年度 地域用水機能増進事業 全国事例発表会に
空知中央地区(事務局 北海土地改良区)が北海道代表として発表**

平成 10 年度より地域用水事業が全国で 81 地区、北海道では 10 地区が実施し、平成 19 年度には半分の 5 地区が完了します。空知中央地区は平成 22 年度完了予定です。



「事例発表の会場風景」

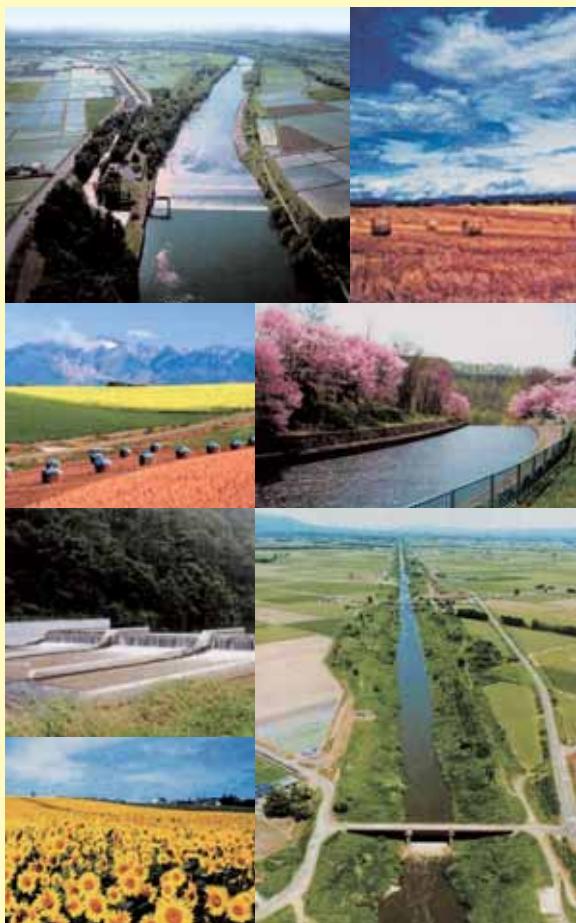
10 月 28 日京都市内のホテルで全国から約 130 名が出席し、代表 8 地区が活動内容を発表しました。

農水省農村振興局整備部青山調査官の挨拶後、北海道を代表して空知中央地区の活動事例、アジサイ・ハーブ植栽やエゾヤマザクラの植樹、美唄市や岩見沢市のワークショップ活動内容、北村小学校の稻作体験授業、子どもたちを対象にした農業用水施設見学会等を約 30 分にわたり説明して参りました。10 月 29 日は滋賀県の湖北土地改良区の新湖北地区と犬上川沿岸土地改良区の犬上川沿岸地区の現地を視察をして参りました。

～疏水サミット in 北海道 2008 が実施されます～

■とき 2008年6月4日(水)・5日(木)

■ところ ロイトン札幌 (北海道札幌市中央区北1条西11丁目)



疏水とは、灌漑(かんがい)などのために、人が土地を切り開いてつくった水の流れ。

厳しくも豊かな自然に囲まれたこの北の大地に人々が集い、水土の資源やそれを育む森林などの地域環境資源への理解を深め、豊かな農地・農村を次の世代に引き継いでいくために疏水サミットを開催します。

主催: 疏水サミット in 北海道 2008 実行委員会

(北海道開発局、北海道、水土里ネット北海道、疏水ネットワーク、全国水土里ネット、水土里ネットしのつ中央、水土里ネットほっかい、水土里ネット旭川)

《農地・水・環境保全向上対策 北海道の愛称が決定》



北海道農地・水・環境保全向上対策協議会において、このほど北海道の同対策の愛称とロゴマークが決定しました。

今後、この愛称を通じて農業者以外にも同対策の理解を広めていくようご協力お願いします。